

2023年度 輝くまちづくり交付金 実施報告書

1 事業内容

団体名	特定非営利活動法人和
事業名	ノスタルジック 946(くしろ)～釧路懐かし写真館～
課題テーマ	地域経済の活性化
事業提案の背景	釧路の新旧の歴史について、記録を市民の力で残したい。 特に、写真は長い歴史、思い出を記録する媒体として使われてきた。その写真を歴史の資料として、デジタルアーカイブ化することによって、資料としての破損・劣化防止や、Web上を介しての時間的・地理的な制約を超えた資料提供ができ、多くの人たちの目にとまり、見てもらうことができる。
事業目的	釧路の歴史を知ってもらう。特に若い世代、移住者、観光客などに釧路の新旧の歴史を知ってもらうことで、地元・故郷釧路を好きになってもらい、釧路の良さ、今後の課題について考え、取り組んでもらうことで、地域経済の活性にもつなげていけるのではないかと考えている。
事業内容	<Step1>「ノスタルジックな写真」公募 <Step2>「ノスタルジックな写真」デジタルアーカイブ化・web ページ制作 <Step3>「ノスタルジックな写真」写真展示会 <Step4>グッズ展開
成果目標の達成状況	<Step1> ○令和5年9月20日～令和6年1月30日の間公募を行った。 応募人数20名 応募枚数200枚以上。 <Step2> ○写真のデジタルアーカイブ化を行い、ホームページやインスタグラムで公開した。 ホームページ： http://nostalgic946.com インスタグラム： https://www.instagram.com/nostalgic_946/ <Step3> ○令和6年3月12日～令和6年3月17日の5日間、釧路市生涯学習センターまなぼとと幣舞市民自由広場で展示会を行った。約100名以上の来場者。(うち記帳35名) (令和6年4月1日より金融機関・郵便局等で展示を予定) <Step4> ○デジタル化した写真をもとにオリジナルクオカードを作成。公募いただいた方に郵送で贈呈した。
波及効果の達成状況	自宅に眠っている古い写真の発掘しデジタルアーカイブ化を行い、保存することができた。展示会を行い昔の釧路の歴史を知ってもらうことができた。 次年度以降の展望であるが、写真の撮影箇所にQRコード等で写真を読み込める看板等を設置し、釧路景色の新旧を閲覧できるようにする。 ゆくゆくはVRコンテンツなどにも広げていきたい。

実施体制	特定非営利活動法人 和
連携した市担当課	産業振興部観光振興室 釧路市立博物館
連携した市担当課が果たした役割 (※有の場合)	(産業振興部観光振興室) ポスターやフライヤー掲示 SNS 等での事業紹介 (釧路市立博物館) ポスターやフライヤー掲示 展示会前に展示する写真の内容や時期等を写真を見ながら照らし合わせをしていただいた。

2 支出決算書と支出内訳

(収入)

費目	決算額 (円)	内訳
輝くまちづくり交付金	250,000	
自己負担	33,940	
合 計	283,940	

(支出)

費目	決算額 (円)	内訳
対象経費		
印刷製本費	2,400	横断幕印刷 フライヤー印刷
役務費	87,000	Life 広告 ヨウコバレエスタジオ広告
委託料	156,500	Web デザイン フライヤーデザイン
消耗品費	6,840	写真展額 パネル代 釘等消耗品
小 計	252,740	
対象外経費		
謝礼用クオカード	31,200	印刷料 クオカード 500 円×20 人
小 計	31,200	
合 計	283,940	